

	<h2>53. 電気章</h2>	★ 考査員認定	
---	------------------	---------	--

考査細目	考査方法	考査のポイント
(1)   ア オームの法則及び電力計算式を示し、電力、電圧、電流及び抵抗との関係を計算例によって説明できること。 イ 直流と交流の原理を知り、それぞれどのように利用されるかを説明すること。	記述	・ $P=EI$ または $P=I^2R$ の公式を理解している。 電圧、電流、抵抗のいずれか2つの値を与えて計算させる。
(2) 自家の電化製品3種以上を選択し、それぞれの消費電力を調査し、1か月の使用電気量を計算できること。	報告書の提出	・ 電力料金の試算ができれば、なおよい。
(3) ブレーカーの果す役割を知り、自分の持っている電化製品の電力量を算出すること。	報告書の提出	・ 自家の電気系統図を作成させた上で計算させるとよい。
(4) 電気工事士法に示されている無資格者の取り扱い禁止事項を知り、説明できること。	口述または記述	・ 家庭内の電気配線の禁止など。
(5) 自家の電気配線、電気設備の状況を調査し、その配線図を正しい製図記号で描くこと。	報告書の提出	・ 電気配線、電気設備の状況を図示させる。
(6) 自家の電気製品の故障の部分を発見し、市販の部品等を使用して修理できること。	報告書の提出	・ 報告書には、経験の概要を記載させる。 できるだけ実演(テスターの使用を含む)させる。